

平成25年度 第6回 砂川市地域公共交通会議

日時：平成26年2月27日 午後2時から

場所：砂川市役所 大会議室

出席者：

区分	所属・役職	氏名	備考
会長 (1号委員)	砂川市 副市長	角丸 誠一	
副会長 (2号委員)	北海道運輸局札幌運輸支局 主席運輸企画専門官	工藤 正弘	代理：飛澤 麻希
4号委員	北海道中央バス(株) 空知事業部業務係長	尾形 崇士	
	砂川北星ハイヤー(株) 常務取締役	天保 和雄	
	三星ハイヤー(株) 営業部長	梶野 恒夫	
5号委員	札幌地区バス協会 (社)北海道バス協会常務理事	今 武	
監事 (7号委員)	砂川市町内会連合会 副会長	高村 雄渾	
	砂川市社会福祉協議会 副会長	尾崎 隆男	
7号委員	砂川市老人クラブ連合会 会長	鈴木 日出男	
8号委員	砂川市 総務部長	湯浅 克己	
	砂川市 市民部長	高橋 豊	
	砂川市 建設部長	金田 芳一	
9号委員	北海道空知総合振興局 札幌建設管理部滝川出張所所長	渡辺 富雄	
	北海道札幌方面砂川警察署 交通課長	山本 克己	

欠席者：

区分	所属・役職	氏名	備考
3号委員	北海道空知総合振興局 地域政策課長	池田 和明	
4号委員	ふじ観光(株) 代表取締役	出村 省三	
6号委員	北海道地方交通運輸産業 労働組合協議会 副議長	阿部 敏彦	
9号委員	北海道開発局札幌開発建設部 滝川道路事務所所長	山崎 達哉	

事務局：

区分	所属・役職	氏名
事務局長	砂川市政策調整課長	熊崎 一弘
事務局	砂川市政策調整課長補佐兼企画調整係長	畠山 秀樹
	砂川市政策調整課企画調整係主任	米谷 和敏
	砂川市政策調整課企画調整係主任	大友 健司

委託業者：

区分	所属・役職	氏名
コンサル	日本データサービス(株) 次長	東本 靖史
	日本データサービス(株) 課長	源野 雄輔
	日本データサービス(株) 技師	斎藤 優太

1. 開会

事務局長

2. 挨拶

→ 会長より会議を代表しあいさつをした。

会 長： 皆様、ご苦労様でございます。何かとお忙しい中、地域公共交通会議にご出席頂きまして、誠に有り難うございます。2月も残すところ、あと1日となりました。実証調査運行につきましても、同様に残り1日の運行となりました。

本日は、6回目の会議になりますが、前回の会議では、2月実証調査運行の結果がでないと具体的な生活交通ネットワーク計画が策定できないということでした。しかし、スケジュールの関係から、ご理解頂きまして、ネットワーク計画に盛り込む構成内容等について、考えを説明させて頂いたところでございます。

構成内容のみでは、計画書をイメージできないというご意見から、前回協議頂きました構成内容を基に、計画書という形にしてお示しし、ご協議願いたいと考えております。

ただ、2月の実証調査運行は明日までですので、計画書が間に合っていないところがございます。その部分に関してはご了承頂きたいと思います。また、本日は参考資料として、「新たな公共交通導入 各編の状況」ということで、コミュニティバスを導入、あるいは、乗合タクシーを導入する場合のメリット、デメリット、課題を整理した資料をお配りしております。

掲載されている内容が全てであるというわけではございませんが、ネットワーク計画を考える上で、協議をしなければならない内容と考えております。

各委員におかれましては、今後この内容を協議頂きまして、砂川市における公共交通についてお考え頂ければと思います。

それでは会議の次第に従いまして、進めていきたいと思っております。

3. 報告事項

(1) 公共交通の地域説明会等の結果について

→ 事務局より議案、資料1に基づき説明した。

【質疑応答】

会 長： 2月の実証調査運行前に各町内会、あるいは老人クラブに説明をした内容となっております。これは、昨年9月に行った実証調査運行へのご意見も含まれているという理解でよろしいでしょうか。

事務局： 2月の実証調査運行に対しての意見ということになります。

会 長： 事務局から、説明会等における意見について説明がございましたが、ご確認しておきたい点等ございませんでしょうか。特段ないようなので、今後、地域説明会で頂いたご意見を取り入れつつ、計画の策定をして参りたいと思います。

4. 協議事項

(1) 砂川市生活交通ネットワーク計画素案の検討について

→ 事務局より資料2の砂川市生活交通ネットワーク計画素案（第1部）について説明した。

【質疑応答】

会 長： 全体の議論に移りますと、少し長いので区切りながら、協議したいと思います。基本的に第1部につきましては、砂川市の概況と各種調査結果について、45ページに現状を整理しまして、今後計画を策定する際の課題を47ページで整理しております。今後これらを解決しながら、公共交通を確保していくことが重要となります。

何か不足している点等ございましたら、ご意見等をお願い致します。

委 員： 確認したいことがございます。8ページのJRの運行状況ですが、右も左も札幌方面となっております。右側は旭川方面の間違いではないでしょうか。

また、15ページの休日の利用目的で「通院」がございしますが、この15%はどのような内容でしょうか。

事務局： 8ページのJRの運行状況ですが、旭川方面の間違いでございします。お詫びして訂正致します。

委 員： 滝芦線のルートはどのようなルートなのでしょう。

事務局： 滝芦線のルートは芦別を出発して、滝川ターミナル経由で空知太地区を通る砂川市立病院までの路線となっております。また、滝川美唄線、滝川奈井江線に関しては、終点が異なる路線であり、砂川市においては、同様のルートを運行しております。

休日に関しての通院は、本人が病院にかかるということではなく、お見舞いということも考えられますので、ご理解頂けると幸いです。ただ、その他の部分も考えられるので、改めて検証しその結果を次回会議でご報告いたします。

会 長： ご指摘された休日の通院に関する質問の回答については、再度検証をしてご報告します。

また、2月調査運行の部分は空欄となっておりますので、また課題等が見つければ、修正箇所が出てくると思います。基本的には、第1部は今まで調査してきた内容およびまとめとなっております。

続きまして、第2部の説明を受けたいと思います。

→ 事務局より資料2の砂川市生活交通ネットワーク計画素案（第2部）、参考資料について説明した。

【質疑応答】

会長： 計画書の第2部は策定の必要性、目的あるいは基本方針、目標を記載しております。

計画の目標として、現在はどれが良いのか答えは出ておりませんが、選択肢として、コミュニティバスなのか、乗合タクシーなのか、それとも引き続き検討するのかという3パターンを提示したところでございます。

54ページ以降は、中央バスが運行する都市間高速バスやJRへの接続性の改善を行う旨、55ページでは、買物施設や医療施設等の生活施設へのアクセスを行い、利便性を高めるといった旨の内容となっております。56ページでは、既存バス路線等の利用促進を現段階で案としてまとめたものとなっております。

計画書として不足している点について、ご意見、ご協議頂ければと思います。

最後に、別紙の新たな公共交通の長所・短所については、事務局がまとめたものであり、どちらを導入しても長所・短所が出てくるところでございます。

何かご意見・ご質問はございませんでしょうか。

委員： 実証調査運行について、9月と2月に行われておりますが、利用者からご意見を聞きますと、9月が不便だったから、2月も乗らないという意見もあります。

しかし今後、本格運行した場合は、認知度の関係からも、ある程度利用者は増えるのではないかと思います。

また、計画期間についてですが、平成26年度から平成28年度になっているが、とりあえずこの期間のみ運行させるという意味なのでしょうか。

また、運行内容の変更を行う場合、平成26年から平成28年の間で変更が可能なものなのでしょうか。

事務局： 計画期間の3年間については、この3年間だけ運行させるといった意味ではなく、今後とも随時検討を行っていくといった内容です。計画期間は最低でも3年間は必要といった意味で記載しております。

委員： 今後も運行していくことは理解しましたが、逆に短くなることもあるのでしょうか。

事務局： 運行するとなれば、少なくとも3年間は運行する方向で考えております。

会長： 運行することを考える以上、いかに継続して運行していくのかといったところを考える必要があります。計画内容については、随時見直しを行いながら、継続して検討していくことを考えておりますので、3年で運行を止めるといった考えではありません。

委員： コミュニティバスについては、非常にきめ細かい運行であり、利用者も中央バスが運行していない地域を運行するので、非常に助かるというっていました。

しかし、空知太地区においては、中央バスの利用者が減少したり、それ以外の地域でもタクシー利用者がコミュニティバス利用に転換してしまい、タクシー利用者が減少している状況にあります。

コミュニティバスを運行させる際には、既存事業者の利用者を考慮した運行をして欲しいと思います。

- 会 長： 既存の公共交通との関係性を崩すのではなく、バランスが大事だと思っております。
- 事務局： 実証調査運行を行った際に、市民からもきめ細かい運行をと意見が挙がっておりました。その際に、既存公共交通を圧迫するような新たな公共交通の導入は、巡り巡って既存公共交通利用者へしわ寄せがくることが考えられるので、既存公共交通にあまり影響を与えない公共交通を導入したいと説明をしておりますし、事務局としても以上の考えで検討をしております。
- 委 員： 高齢者の方が特に喜んでおります。家の近くまでコミュニティバスが来てくれるというのが、大きいようです。
- 委 員： 既存公共交通の運行時間帯について、将来的には見直しをするべきだと考えております。また、新たな公共交通については、循環型バスの導入を考えるのも良いと感じます。
- 会 長： 実証調査運行をもう一度やった方が良いという意味でしょうか。
- 委 員： そのような意味ではなく、検討をするといった意味です。
- 委 員： まちづくりと一体となった交通網を構築することが必要ではないでしょうか。また、既存バス路線は市内だけを運行しているわけではないので、他路線と一体となった運行という考え方も必要だと思います。
- 事務局： まちづくりの観点から、中心市街地の活性化を目的に事業を行っていることから、本事業もその一環を担っていると考えております。
- その観点から、将来的には路線バスやタクシーの利用者も増えるのではないかと考えております。空知太地区においては、基本的には、商業圏は滝川市内であります。砂川市内に向けたバスを運行させることによって、砂川市内の中心部に人が集まり、中心市街地が活性化すると考えております。
- 会 長： 今後、連結がうまくつながることを含め、検討を進めたいと思います。全体を通して、ご確認等ございましたら、よろしくご意見申し上げます。
- 特段ないようですので、頂いたご意見を参考に各種分析を行いたいと思います。

5. その他

- 事務局より次回協議会の日程について説明した。

事務局： その他ということでお知らせします。次回の会議の開催日程ですが、3月下旬の開催を予定しております。また、次回の会議では引き続き生活交通ネットワーク計画素案、新たな公共交通の導入方針案についての協議を考えています。会議の日程が決まりましたら、ご案内致しますのでよろしくお願い致します。

【質疑応答】

なし

6. 閉会

会長